

誰もが誰かのサンタになれる。

H₂Oサンタ

チャリティー活動報告



H₂OサンタもDX!*

「遠足」と聞くとワクワクしませんか？いつもの場所を離れて行く遠足は、前日の夜、眠れないくらい心弾みますよね。

先日、大阪から遠く離れた横浜にいる闘病中の子どもたちの「リモート遠足」のお手伝いをする機会がありました。

私はサッカーボールほどの大きさの、頭と腕が動くヒト型ロボットを手のひらに乗せて阪急うめだ本店内を歩き回ります。遠方の子どもたちはスマートフォンを使い、ロボットのカメラやマイク、スピーカーを通して大阪の百貨店を初体験。まずは、希望のおもちゃ売場へ行きました。続いて訪れた地下のケーキ売場では、子どもたちの「どれがおすすめですか？」という質問に、売場係員はロボットの顔を見てニコニコの笑顔で手を振りながら、色とりどりのおいしいそうなケーキについて説明。子どもたちは大よろこびでした。

私や売場係員からは子どもたちの姿は見えません。しかし、パソコンの画面を見るリモート会議とは違い、ロボットの姿を通して聞こえる声やロボットの身振り手振りから子どもたちの体温を感じ、すぐそこにいる感覚になりました。

かつて阪神・淡路大震災が発生した1995年は、ボランティアの認知の高まりからボランティア元年といわれています。これまでのボランティアは実際の現場に行く活動でしたが、コロナ禍をくぐり抜けようとする現在、活動のあり方が多様化しつつあります。もちろん人と人が直接かかわることが基本ですが、オンラインの寄付や今回のようにロボットを活用した双方向通信による支援など、社会貢献のあり方が加速度的に変化する兆しを感じています。

日々成長する子どもたちの大切な一日一日のため、私たちH₂Oサンタは社会変化を敏感に感じとり、支援が必要な子どもたちと地域のみなさまをつなぐ活動を発展させていきます。ご支援よろしくお願いたします。



一般財団法人H₂Oサンタ
事務局長 外間孝次

*DX: デジタルトランスフォーメーションの略で
デジタル技術による生活の変革のこと。

髪に悩みを抱える子どもたちを 医療用ウィッグでサポート。

H₂Oサンタは、子どもを取り巻く問題の現状把握のため、子ども支援の現場をたずね、定期的に専門家や社会貢献団体に取材を行っています。

今回は、カットした髪の毛の寄付を募り、その髪の毛で医療用ウィッグを製作。病気や外傷、治療に伴う薬の副作用によって頭髪に悩みを抱える子どもに無償で提供しているNPO法人Japan Hair Donation & Charity (以下NPO法人ジャーダック)を取材しました。

取材・レポート: H₂Oサンタ事務局長 外間孝次



様々な原因で頭髪に悩みを抱える子どもたちがいます。そして、子どもたちの悩みは、保護者の悩みや心配でもあります。NPO法人ジャーダックは、代表理事で美容師でもある渡辺貴一さんが日本で初めて立ち上げた、医療用ウィッグを製作し、子どもたちに無償で提供する活動を行う社会貢献団体です。ウィッグの材料は、「ヘアドネーション」と呼ばれる、医療用ウィッグの材料として寄付された髪の毛です。多くの子どもたちは待ち

わびたウィッグを着けると笑顔を取り戻し、前向きな気持ちにスイッチします。

しかし、NPO法人ジャーダックが目指しているのは、必要としているすべての子どもたちにウィッグが行きわたることだけではなく、ウィッグを着けなくても周りの視線を気にせず、楽しく生活できる世の中にあること。みんなが互いの個性を認め合い、多様性を尊重する社会の実現です。

医療用ウィッグの提供活動は、 カットした髪への“恩返し”の思いから



~~~~~  
NPO 法人ジャーダックは、ヘアドネーション（医療用ウィッグの材料として切った髪を寄付すること）によりウィッグを製作・提供する日本初の団体として2009年9月に設立。頭髪に悩みを抱える子どもたちに、医療用ウィッグを提供しています。代表理事の渡辺貴一さんに活動内容をうかがいました。  
~~~~~

● 主な活動内容を教えてください。

脱毛症などの病気や外傷、治療に伴う薬の副作用によって頭髪に悩みを抱えている18歳以下の子どもたち（レシピエント）に、寄付された髪の手で製作したJIS規格適合の医療用ウィッグ（以下ウィッグと記載）を無償提供しています。設立から最初のウィッグを提供するまでの3年間に、約300人分の髪の手が寄付されました。2015年に俳優の柴咲コウさんが髪を寄付してくださり、SNSで発信されたことでヘアドネーションの輪が広まり、今では1日に300~500人分の髪の手が届くようになりました。これまでに提供したウィッグの数は、延べ573個です。（2022年6月現在）

● 活動を始めたきっかけは？

私は美容師なのですが、1995年から1年間に、技術向上のためにニューヨークで修業をしました。そこで見たのは、街の人たちがとても

気軽に様々なチャリティーに参加している姿でした。帰国後、2008年に独立して自身の店をオープンした際、利益を求めだけの美容室ではなく「切った髪を捨てるのはもったいない、その髪の手に恩返しをしたい」と考えました。活動開始当初は単純に“髪の手のアップサイクル先＝ウィッグ”という意識だったのです。その時、アメリカで既に始まっていたヘアドネーションのチャリティー活動を思い出し、団体の名称を「Japan Hair Donation & Charity」とし、「JHD&C（ジャーダック）」の略称で親しまれるようになりました。



ウィッグを必要とする子どもたちと ヘアドネーションしたい人をつなぐ

● ウィッグはどのように作られますか？

ウィッグの材料にするには、切った髪の手の長さが31cm以上必要です。寄付いただいた髪の手は、長さ別にS・M・L・LLサイズに仕分けをして、加工処理の工場へ出荷。それを職人が丁寧に植毛してウィッグが完成します。寄付された髪の手がウィッグとして完成するまでに、約3年かかります。



● ひとつのウィッグに

何人分の髪の手が必要ですか？

ウィッグにはショートヘアからスーパーロングヘアまで4種類のタイプがあります。31cmの髪の手を約50人分使用して、ようやくショートヘアのウィッグが完成。一番人気のロングヘアのウィッグを作るには、50cmの髪の手が約100人分必要です。

● ウィッグを提供する順番は

どのように決められるのですか？

レシピエントのみならず、様々な事情で

ウィッグをご希望されているので、こちらで順番を決められません。背景にどのような事情があったとしても、不公平のないようお申込みの先着順でウィッグをお渡ししています。

● 1年間の申請数はどれくらいですか？

約300人を超える申請がありますが、1年間に製作できるウィッグは約150個と限りがあり、約250人の子どもたちに待機いただいているのが現状です。（2022年6月現在）

2012年頃、ほとんどの方がヘアドネーションをご存じではない時から、H₂OサンタさんにはNPOフェスティバルをはじめとするイベントなどで周知の機会をいただき、ヘアドネーションの認知度を上げることができました。その結果、今では寄付される髪の手も増え、レシピエントにお届けできるウィッグの数が増えてきたことに感謝しています。



ウィッグ着用で生まれる前向きな気持ち、 尊重すべきそれぞれの使い方

●ウィッグを着けたこともや

ご家族の反応はありますか？

「ウィッグを着いたら外出する機会が増えた」「気持ちが明るくなり、おしゃれを楽しむようになった」「周囲の目が気にならなくなった」など、よろこびの声が多く寄せられています。中には「学校では着けないけど、休日に買物や遊びに行く時に着けている」と使い分けをしていることもや、「着けたまま水泳ができるほど高性能なウィッグを使っていましたが、簡単に取り外せず頭皮がかぶれてしまうので、気軽に着脱できるジャーダックのウィッグを併用できて本当に良かった」という親子もいらっやいます。ウィッグを着ける目的や理由、使い方は人それぞれなのだと感じました。



●ウィッグの申請回数に

制限はありますか？

使用に伴う毛先の傷みや経年劣化、成長に伴うサイズアウト、洗い替えなどで複数体のウィッグが必要な場合は、お申込み時点で18歳以下であれば何度でも申請可能です。

●印象的なエピソードはありますか？

2012年、団体を設立してから初めて完成したウィッグをレシピエントにお渡ししました。その時、ウィッグを着用し鏡を見て一番最初に言われた「久しぶりに自分の本当の笑顔を見た気がする」という言葉が今でも忘れられず、活動の原動力になっています。



一人ひとりの容姿を個性として 認め合う社会になるように

●困っていることはありますか？

すべての活動は、ボランティアと寄付金によってまかっています。年間に製作できる数には限りがあり、待機レシピエントを減らすことができません。また、寄付された髪の中からは、長さが31cm未満のものも多くあります。

これらは研究用として企業に提供していますが、ウィッグの製作には使えないため、ご寄付いただくのは31cm以上の長さの髪をお願いしたいです。

●ヘアドネーション以外に

協力できる方法はありますか？

募金もありがたいですし、シャンプーやコンディショナー、タオルなど募金金額に応じた返礼品が付いたチャリティファンディングにご協力いただくことも、ウィッグ提供活動のサポートにつながります。



●今後のビジョンを教えてください。

これまで、ウィッグを提供することだけに注力していましたが、レシピエントの様々な声を聞くうちに“髪の毛があるのが普通”という考えを押し付けているのではないかと考えるようになりました。もちろん、ウィッグを待ち望むレシピエントのためにも提供活動は続けます。しかしこれからは、“頭髪がない”ことも個性として受け入れられ、ウィッグを着ける選択・着けない選択が自由にでき、“必ずしもウィッグを必要としない社会”を目指す活動もしていきたいです。



取材を終えて

渡辺さんはヘアドネーションを社会に広め、ウィッグの寄贈を活動としながら、ウィッグを必ずしも必要としない寛容な社会を目指しています。しかしながら、ヘアドネーションを広めたことが「髪がない人にはウィッグが必要」という流れ

を助長してしまったのではないかと、という言葉が印象的でした。〇〇であるべきと決めつけるのではなく、人それぞれの多様性を尊重するという考え方の大切さを再認識しました。

ご寄付で応援いただける
方はこちら



YouTubeでライブ配信をスタート。

子ども支援に取り組む社会貢献団体の方をお招きしインタビューするチャリティートークイベントを、H2O サンタのYouTubeチャンネルで配信しています。

土曜日の午後は
チャリティートークイベント
〈オンライン版〉



毎週土曜日に阪急うめだ本店9階祝祭広場で開催していた『土曜日の午後はチャリティートークイベント』は、感染予防のためお休みしていましたが、2021年12月からH2O サンタYouTubeチャンネルでライブ配信というスタイルに変えてリスタートしました。

毎月1団体をお招きし、団体設立の経緯や活動現場での生の声をお届け中。団体のキャラクターが登場したり、小児がんサバイバーの方に当事者ならではの想いをお伝えいただいたり、みなさまのご厚意でネパールの農村に寄贈することができた井戸の現地報告などをしています。リアルタイムのライ

ブ配信はもちろん、アーカイブ配信もご覧いただけるため、多くの方に社会貢献団体の活動や子どもたちの今を知っていただく新たなメディアとなりました。

レポート:H2Oサンタ事務局 戸田 功



YouTube



NPO法人
しぶたね



公益社団法人
家庭養護促進
協会 大阪事務所



公益社団法人
アジア協会
アジア友の会



NPO法人
チャイルド・
ケモ・ハウス

様々な場所でチャリティーの輪を広げています。

大阪・万博記念公園で開催された『ロハスフェスタ®万博 2021秋』のH2O サンタブースには、多くの方が訪れてくださいました。

ロハスフェスタ®万博
2021秋

出展日:2021年11月6日(土)・7日(日)
会場:大阪・万博記念公園



関西最大級の野外イベント『ロハスフェスタ®万博』は、感染症予防対策をとりながら1年ぶりに開催されました。延べ8回目の出展となるH2Oサンタは、社会貢献団体と地域の方々をつなぐことを目的に“たのしい、かんたん。チャリティーパーク”をテーマにブースを出展。苦難を強いられている子どもたちを支援する5つの社会貢献団体の活動をパネルでご紹介しながら募金を呼びかけ、2日間で39,331円のご協力をいただきました。『NPOクイズ』には1,827人の方が参加してくださり、「社会貢献って?」などの子どもの質問に、保護者の方が丁寧に答える姿が印

象的でした。ひと口300円以上のご寄付で自分が描いたイラストや会場で撮った写真が缶バッジになる、チャリティー缶バッジコーナーも好評。また、子どもたちが『おもしろ募金箱』をきっかけにチャリティーに興味を持っていただくことも多く、ありがたく思っています。

レポート:H2Oサンタ事務局 中田大三



報告ブログはこちら

YouTube

認定NPO法人
日本クリニックラウン協会をご紹介した
ロハスステージの様子ははこちら



チャリティーの輪が広がっています。

万全の感染症予防対策のもと、今回もたくさんの方とつながりました。

第14回 NPOフェスティバル

開催：2022年2月16日(水)～21日(月)
会場：阪急うめだ本店 9階 祝祭広場

NPOフェスティバルとは？

世の中にまだ広く知られていない、こども支援に取り組む社会貢献団体の有意義な活動をご紹介します、寄付を募るイベントです。



『第14回 NPOフェスティバル』は、入院中・療養中の方やそのご家族などに手作りのあたたかなあかりを届ける活動をしている、あかりバンク(認定NPO法人ノーサイド)とのコラボレーションで6日間開催。手作りのあかりの幻想的な光が来場者を癒やしました。

今回の『NPO展示会』は、感染症予防対策のため団体スタッフは常駐せず、15団体の活動内容をパネルと動画でご紹介。全問正解するとガラガラ抽選でもれなく賞品がもらえる『NPOクイズ』、チャリティーを楽しく感じるきっかけになる『おもしろ募金箱』、プリント体験ができて売上げの一部が団体への寄付になる『チャリティーTシャツ

ショップ』といった企画も実施しました。さらに、外出ができない方や外出しにくい方が社会とつながるツールとなるヒト型ロボットが会場に初登場し、神戸の就労支援施設や横浜のこどもホスピスとつながるなど、新たな試みも実施しました。

レポート：H2Oサンタ事務局 戸田 功



あたたかなあかりが会場を包む

あかりバンク展

～手作りランプで癒しを届ける～

蛍光灯など無機質な照明の下で過ごすことが多い入院中のこどもたちやそのご家族などへ、あたたかな手作りのあかりを届ける活動を行うあかりバンク(認定NPO法人ノーサイド)をご紹介します。少し照明を落とした会場に作品を飾り、あかりのぬくもりを感じていただきました。会期終了後は、阪急阪神百貨店従業員ボランティアも参加して作った作品も含め、乳児院やこどもホスピスに寄贈されます。



あかりバンク展の様子はこちら



距離や障害を超えて社会とつながる

ヒト型ロボットが初登場

スマートフォンと連動したカメラやマイクを備えたロボットの操作で、遠方とつながることができるヒト型ロボットがNPOフェスティバルの会場に初登場。数百キロ離れた横浜にいる闘病中のこどもたちがロボットのパイロットとなって、9階祝祭広場の『あかりバンク展』を見たり、地下1階のケーキ売場を訪れたり、阪急うめだ本店を“遠足”するという取り組みをしました。外出しにくい状況のこどもたちなどが、社会とつながる新しい手段としての様々な可能性を実感しました。



『ロボットで遠足』動画はこちら



NPO 同士のつながりをH2O サンタが応援。

こども支援に取り組むNPOのネットワークが広がりました。

第1回 NPO 交流会
 開催: 2022年1月27日(木)
 会場: 阪急うめだ本店
 13階 ダイヤモンドホール/ オンライン

H2Oサンタが支援する社会貢献団体同士が交流し、他団体の取り組みから活動のヒントを得て、自分たちの活動の参考にしていただくことを目的に『第1回NPO交流会』を、感染症予防対策のもと、阪急うめだ本店13階ダイヤモンドホールとオンラインの二元開催で実施しました。

この交流会開催のきっかけは、NPOフェスティバルに参加された団体から届いた「会場で他の団体の活動を知り、参考になる学びがたくさんあった。いろいろな団体とつながれたことがうれしい」というお声でした。今回は、認定NPO法人プール・ボランティアによる『助成金申請のコツ』、認定NPO法人日本クリニックラウン協会による『クリニックラウン 仲間(支援者)をつくるコミュニケーション』という2つの講演内容。会場とオンラインを合わせた21団体総勢30名が様々な意見を交わし、「コロナ禍での他団体の工夫など、とても役立つ情報を得るこ



とができ、大変有意義だった」といった感想などをいただきました。

レポート:H2Oサンタ事務局 森田英里



H2Oリテイリンググループや法人賛助会員の従業員による、H2Oサンタが橋渡し役となったボランティア活動をご報告します。



多様なボランティアメニューに参加。

入院中・療養中の方々やそのご家族など、様々なケアが必要な方へ手作りのあかりを届ける活動を行っているあかりバンク(認定NPO法人ノーサイド)と、エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社が主催したイベントにボランティアとして参加いただきました。

自分にできることで誰かを支えていきたい。

「趣味の延長のような気分で楽しめるモノづくり体験をさせていただきました。やってみると熱中し、時間を忘れるほどでした。そして、それが誰かのためになるなんて良いですね。また参加したいです」と、楽しんでボランティアに参加してくださいました。

レポート:H2Oサンタ事務局 森田英里



乳児院やこどもホスピスに寄贈するあかりを制作



他のボランティアと一緒に、2時間かけて丁寧にあかりを制作しました。(右上写真の後列左が風早さん)

こども食堂イベントの運営サポート



多くのこどもたちが参加するイベントで、会場の黒板作りや食卓の準備などをしました。

社会貢献団体をご紹介します、寄付を募る チャリティーガイド

イズミヤ・阪急オアシスにも登場

チャリティーガイドは、有意義な活動をされているのですが、世の中にまだ広く知られていない社会貢献団体をご紹介します、地域のみならずつなぐコーナーです。設置直後から「こどもたちに何かしてあげたい」と募金してくださったお客様が、「小銭を貯めていました」と大量のコインを募金してくださる方もおられました。



イズミヤ・阪急オアシスに設置したチャリティーガイド。

レポート:H₂Oサンタ事務局長 外間孝次



みなさまのご厚意でネパールに井戸が完成

阪急うめだ本店などに設置したチャリティーガイドの募金箱や、イベントで集まった募金、H₂Oリテイリンググループの従業員組織H₂Oサンタ社員基金からの寄付が、公益社団法人アジア協会アジア友の会を通して4基目の井戸の設置につながりました。



現地の様子はこちら



チャリティー活動報告書を読めば答えがわかる!

オンラインNPOクイズ

3問のクイズに全問正解し、アンケートにお答えいただいた方の中から抽選で毎月2名様に、ご希望の『おなまえライト』をプレゼント

※プレゼントはおひとり様ひとつです。※写真はイメージです。



クイズはこちらから

◎応募締切日:2022年6月～10月の毎月月末
◎当選者発表:プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

※制作は、あかりバンクを通じて障害児を養育しているママアーティストがおこないます。少しお時間をいただく場合がございます。

寄付額合計 6,693,398円

チャリティーガイドやイベント、web募金で集まった寄付金を、51 団体へ寄付いたしました。みなさまのご協力ありがとうございました。

- 認定NPO法人アクセス
ー共生社会をめざす地球市民の会
- 認定NPO法人ゴールドリボン・ネットワーク
- 認定NPO法人児童虐待防止協会
- 認定NPO法人ジャパンハート
- 認定NPO法人女性と子ども支援センター
ウィメンズネット・こうべ
- 認定NPO法人テラ・ルネッサンス
- 認定NPO法人難病のこども支援全国
ネットワーク
- 認定NPO法人日本クリニクラウン協会
- 認定NPO法人ノーサイド
- 認定NPO法人ノーベル
- 認定NPO法人兵庫助犬協会
- 認定NPO法人ふあそらぼ (FaSoLabo) 京都
- 認定NPO法人ブル・ボランティア
- NPO法人アイケアキッズ (i-care kids) 京都
- NPO法人アスロン
- NPO法人あっとオーティズム
- NPO法人あつとすくーる
- NPO法人おおさかこども多文化センター
- NPO法人関西こども文化協会
- NPO法人キャップセンター・ジャパン
- NPO法人子どもセンターぬつく
- NPO法人子どもデザイン教室
- NPO法人コンセント
- NPO法人サイレントボイス
- NPO法人しぶたね
- NPO法人ジャーダック (JHD&C)
- NPO法人弱視の子どもたちに絵本を
- NPO法人性暴力被害者支援センター・ひょうご
- NPO法人全国不登校新聞社
- NPO法人タイ国学生日本語教育環境
支援プロジェクト
- NPO法人チャイボラ
- NPO法人チャイルド・ケモ・ハウス
- NPO法人つなげる
- NPO法人つなご
- NPO法人西成チャイルド・ケア・センター
- NPO法人西淀川子どもセンター
- NPO法人日本こども支援協会
- NPO法人日本サービスドッグ協会
- NPO法人ラマモンソレイユ
- NPO法人レインボーチルドレン
(Rainbow Children Japan)
- 公益財団法人関西盲導犬協会
- 公益財団法人国際センター
- 公益社団法人アジア協会アジア友の会
大阪事務所
- 公益社団法人こどものホスピスプロジェクト
- 公益社団法人小さないのちのドア
- 社会福祉法人日本ライトハウス
- 社会福祉法人兵庫盲導犬協会
- 一般財団法人日本ドリームボード財団
- 一般社団法人ニュールック (new-look)
- 一般社団法人ミナファミリー



一般財団法人H2Oサンタは、H2Oリテイリンググループの社会貢献団体です。
 こども支援をテーマに、地域社会にチャリティーの文化を創造することを目的とした
 4つの活動を行っています。

1 社会貢献団体と連携した啓発・募金活動

展示会やイベントで様々な団体を紹介し、寄付を募る活動を行っています。

2 寄付のためのイベント

寄付金を集めるための販売会・展覧会・ダンスイベントなどを開催しています。

3 ボランティアの仲介

ボランティア活動に参加していただける方々と社会貢献団体をつないでいます。

4 調査・発表

こどもたちに関連する諸問題を調査し、本誌などで紹介しています。

H2Oリテイリンググループ

百貨店、スーパーマーケットなど小売業を核とし
 地域のみなさまの生活に貢献する生活総合産業グループです。



賛助会員ご加入のお願い

H2Oサンタの活動を継続するためには、みなさまからのご支援が必要です。
 活動の趣旨にご賛同いただき、賛助会員へのご加入よろしくお願ひいたします。

【会員種別】	【年会費】
法人会員	1口 50,000円
個人会員	1口 5,000円

右記の
 二次元コードから
 お申込みください。



法人会員様
 一覧



個人会員様
 一覧



一般財団法人H2Oサンタ事務局
 TEL:06-6313-9304 (10:00~18:00) ※火・日曜以外
 Mail:h2osanta@h2o-retailing.co.jp

